

『～茨城みずベシンポジウム～

私たちの水辺を見直そう!』を開催します。

主催：茨城県内水面漁業協同組合連合会・茨城県内水面水産試験場

日時：2008年 9月28日(日) 13:30～16:00

会場：常陸太田市生涯学習センター ふれあいホール

(常陸太田市中城町3280, 電話：0294-72-8888)

茨城県には、霞ヶ浦・北浦、那珂川・久慈川をはじめ大小たくさんの湖や川があります。これらの水域には、自然が多く残されており、ワカサギ、アユ、シジミといった魚介類をとる漁業が営まれ、私たちの食生活に豊かな自然の恵みをもたらしてくれます。また、このような水域にはアユやハゼを釣る人たちも多く訪れ、子供から大人まで楽しめるレジャーとして人気のある場所になっています。

川や湖には、いろいろな役割があることが注目されています。多様な生き物が住んでいる川は豊かな自然環境が保たれているということ、川のせせらぎの音を聞くと心が癒されるといったことも、そのひとつといえるでしょう。最近あまりみかけませんが、一昔前は子供が近くの水辺で川遊びをするという風景が普通にみかけられ、自然の中から何かを学ぶという環境がありました。水辺がもっている役割ひとつひとつを経済評価として金額に置き換えてみると、そこには計り知れない価値があることがわかってきました。

今回は、川や湖の経済評価研究に携わっている玉置氏に水辺のもつアメニティ(場所や環境の快適さ、生活を楽しむもの、など)についてご講演いただき、茨城県の水辺環境の豊かさや大切さを再認識するとともに、これらの環境を活かした地域おこしを考えるきっかけづくりをしたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。

プログラム

13:30 ～ **開会**

13:35 ～ **開催挨拶**：1) 茨城県内水面漁業協同組合連合会会長
2) 茨城県内水面水産試験場場長

13:45 ～ **開催趣旨説明**：茨城県内水面漁業協同組合連合会

13:50 ～ **講演 第1部**

茨城の川や湖は自然がいっぱい

講演者：茨城県内水面水産試験場 金光 究 氏

川で遊ぼう! 川はいろいろなことを教えてください

講演者：日本友釣同好会日立支部 角田恒己 氏

14:20 ～ **休憩**

14:30 ～ **講演 第2部**

川や湖が私たちに与えてくれるもの

- 目に見えない価値を計ってみると? -

講演者：(社)日本水産資源保護協会 派遣講師

玉置 泰司 氏(独立行政法人 水産総合研究センター)

15:30 ～ **総合討論&質疑応答**

16:00 ～ **閉会**

参加ご希望の方は、平成20年9月22日までに、内水面水産試験場までお申し込みください。よろしくお願いいたします。(河川部)